

学校教育目標 新しい知を拓き、ともに生きる豊かな社会を創るため、主体的に学ぶ、人間性豊かな「南古谷っ子」を育成する
目指す学校像 みんなが みんなを 大切にする学校
南古谷小学校5つのじまん あいさつ ことば なかよし 読書 歌声

川越市立南古谷小学校



学校だより

なのはな

かしこく ゆたかに たくましく

令和6年4月30日発行

令和6年度 川越市立南古谷小学校 学校課題研究の取組

校長 馬場 雅史

『目には青葉山ほととぎす初鰹（山口頼 1642~1716）』という句が思い浮かぶほど、若葉がまぶしい、五感が活性化する季節がやってまいりました。子供たちの表情も輝いて見えます。

4月は、1年生の下校見守りや年度始めの授業参観・懇談会、PTA新旧合同理事会、引き渡し訓練等、保護者の皆様には幾度もご来校いただき感謝いたします。多くの保護者様から南古谷小学校の教育活動に関するご意見やお子様のご家庭での様子等を直接お聞かせいただきました。有り難いです。新たな視点で学校経営について思考する機会となっています。保護者様と職員、地域の方々との間に垣根が無く、子供たちのことについて考えられる、話し合える学校が大切だと思います。引き続き、遠慮無くお声がけください。

ところで、令和6年度の南古谷小学校における学校課題研究の取組では、「非認知能力」の育成を目指して国語科の指導方法を見直し、改善してまいります。理由は、埼玉県が小学校第4学年から中学校第3学年を対象に実施している学力・学習状況調査の結果を通して、非認知能力を高めることによる有益性がデータとして改めて確認できるからです。

埼玉県が捉えている非認知能力と認知能力は、例として、以下のように示されています。

非認知能力 認知能力ではない能力全般

例えば・・・

- 自制心（イライラしない、心の平静を保てる）
- 自己効力感（自分への自信、自己肯定感）
- 勤勉性（やるべきことをきちんとやる）
- やり抜く力（粘り強い、根気がある） など

認知能力 いわゆる学力

例えば・・・

- 計算
- 漢字の読み書き
- 文章題の把握
- 図形の把握 など

慶應義塾大学の教授が、「非認知能力は認知能力を向上させるがその逆は観察されない（『平成29年度戸田市教育研究集録』）」と述べていますが、埼玉県の学力・学習状況調査による令和5年度の結果では、正にその相関が示されています。

①自己効力感を伸ばしている児童生徒は、学力の伸びに繋がっている。

②自分にはよいところが「ある」と思う児童生徒は、学力の伸びに繋がっている。

非認知能力は「見えない学力」、認知能力は「見える学力」とも呼ばれることがあります。埼玉県の示した結果を踏まえれば、試験の点数や記述による自身の考え方などの「見える学力」は、「見えない学力」が伸びる環境に子供が居ればついてくると言えます。目指すべきは、「見えない学力」が伸びる環境づくりです。そのためにどうするか。私は、子供を一人の人として尊重し、その子の自分への自信や自己肯定感といった人としての心根の部分を太く、力強いものにしていく環境作りが大切と考えました。教育活動全般で目指してまいります。その主たる所は子供と教員との協働的な授業づくりだと思います。このことを念頭に、今年度の研究を全職員で深めてまいります。

QRコードは紙面をご覧ください。

欠席連絡は
コチラから

